

発行：利尻島自然情報センター 利尻町沓形字富士見町 小杉和樹 〒097-0401 E-mail:kazuki@h2.dion.ne.jp

8月の駆除会はこじんまりと…

8月25日（日）は、台風の影響を受けて、駆除会を中止にしないでほしいかなと思っていたのですが、風は強かったものの雨にはならず、参加者は3人と少なかったのですが予定通り実施しました。

当日は、いつも通り駐車場付近を主に駆除をしたのですが、やはり人数が少ないと盛り上がりせず、30分程で作業を切り上げ、気になっていた沼浦海岸のオニハマダイコンの駆除に向かうことにしました。こんな時は、こういうのも有りです。



しかし、沼浦海岸も風が強いのと、駆除が進んでいなかったために、大きな個体が多く、あっという間に3人のゴミ袋は3つとも満杯となり、こちらも早々に切り上げることにしました。

結局、オオハンゴンソウは143本、オニハマダイコンは274本の駆除数となりました。

風の強い中、駆除会に参加してくださったお二方には、心から感謝申し上げます。

ちなみに、今年のオニハマダイコンの駆除数は1,094本にもなりました。この後も未だ増えそうです。



これまで、そして、これから

下の写真は、鴛泊の北麓野営場に向かう道路脇に咲くノラニンジンです。NPO法人礼文島自然情報センターが最近発行した「ネイチャー礼文通信111号」に以下の記載がありました。

～ノラニンジン北海道ブルーリストでは、「生態系への影響が懸念される種(A3)」に挙げられており、礼文島内では車道を中心に拡大し始めた外来植物です。平成22年には生態系への影響を心配するほどの数ではありませんでしたが、平成28年には群落規模が拡大しており、貴重な植物群落への影響が心配になってきました。そこで、このまま放置せず、すぐに対策した方が良くと考え、8月18日にボランティアを募りアツモリソウ群生地周辺の駆除を開始しました。～

実は、利尻島でも同様で、島の北部鴛泊地区の車道や自転車道の道路脇で相当な勢いで勢力を拡大しています。沓形地区でも少数が確認され、このままでは道路脇がノラニンジンで覆い尽くされてしまいそうです…。駆除したいのですが…。



2018年第6回駆除会

今年最後の駆除会になります。今回は、例年協力してくれている利尻富士町役場の「長なし会」の皆さんも参加予定です。場所、日時等は以下の通りですので、お友達とお誘い合わせの上お越しください。

- 日 時：9月22日（土）午前9時半から11時まで
- 場 所：南浜湿原
- その他：小雨決行

	種富湿原	南浜湿原	オタマリ沼	仙法志	沓形	鬼脇	鴛泊	計
2017年実績	5,330本	66,865本	381本	8本	4,814本	0本	0本	77,398本
2018年実績	7,476本	80,991本	14本	0本	0本	0本	0本	88,481本

2018年実績は、8月末までに報告のあった数の集計です。作業をされた方は場所、日時、駆除本数を毎月末までに報告して下さい。（この通信は環境省グリーンワーカー事業「平成30年度利尻島外来種除去等業務」を受託して発行しています。）